

中部（7）交北小学校・山田中学校の小中一貫校山田中学校 適正化方策案の検証評価（事務局評価案）

方策案	<p style="text-align: center;"><b>中部 S</b>                  （山田小と山田東小、交北小を統合）  <b>交北小・山田中に小中一貫校を設置する。</b></p>
特に有効な点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交北小学校と山田中学校の配置を活かした小中一貫校（施設一体型）の設置が可能である。</li> </ul>
課題点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 32 年度まで統合小学校は大規模校となる。</li> <li>・最長通学距離が 2.2km となる。</li> <li>・現状も同様であるが、一部の児童が交通量の多い道路（杉田口禁野線）を横断して通学しなければならない。</li> <li>・交北小は山田小から分離開校しており、歴史的な経緯から課題がある。</li> </ul>
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山田小学校区からの通学距離が長くなること、歴史的な経緯の点などの課題があるものの、交北小学校と山田中学校の学校配置を活かした小中一貫校（施設一体型）として設置することができる。このため、小学校又は中学校ごとの統合方策である山田小学校中部Gーア、山田中学校中部Rーア案に比べより適切な統合方策であると考ええる。</li> <li>・通学距離に関しては、路線バスの活用が検討できる。</li> </ul>